

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 福

上場会社名 RKB毎日放送株式会社

コード番号 9407 URL <http://rkb.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 良次

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長

(氏名) 松浦 泰久

TEL 092-852-6624

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	11,572	△2.9	326	△47.7	399	△42.8	78	△83.1
27年3月期第2四半期	11,913	4.2	623	2.1	697	4.0	465	13.3

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 391百万円 (△39.1%) 27年3月期第2四半期 642百万円 (68.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	7.18	—
27年3月期第2四半期	42.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
28年3月期第2四半期	41,166		28,878		68.8	
27年3月期	41,513		28,655		67.6	

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 28,321百万円 27年3月期 28,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	—	—	15.00	15.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	24,780	△1.3	1,300	△14.5	1,460	△12.6	840	△18.5	76.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	11,200,000 株	27年3月期	11,200,000 株
28年3月期2Q	233,718 株	27年3月期	233,718 株
28年3月期2Q	10,966,282 株	27年3月期2Q	10,967,347 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成28年3月期の個別業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,050	△2.1	1,170	△20.3	1,350	△16.8	810	△23.3	73.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 参考情報	10
(1) 当四半期の個別業績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善など景気回復基調で推移しておりますが、個人消費の回復は依然弱く、中国経済をはじめとした海外景気の下振れ懸念もあり、先行き不透明な状況です。

そのような状況の中、放送事業およびその他事業収入が前年を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は115億72百万円(前年同期比 2.9%減)で減収となり、営業利益は3億26百万円(前年同期比 47.7%減)、経常利益は3億99百万円(前年同期比 42.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、厚生年金基金脱退に伴う特別損失の計上により78百万円(前年同期比 83.1%減)でいずれも大幅な減益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

①放送事業

放送事業は、収入77億94百万円(前年同期比 4.4%減)、営業利益1億93百万円(前年同期比 51.2%減)となりました。

テレビ部門は、収入67億79百万円(前年同期比 3.4%減)となりました。タイム収入はレギュラータイム提供社減少等で5.7%減、主力であるスポット収入も2.0%減となりました。業種別では、化粧品・洗剤・トイレタリ、流通・小売などが伸びたものの、通信・放送、薬品、輸送機器などが落ち込みました。

ラジオ部門は、収入10億15百万円(前年同期比 10.7%減)となりました。スポット収入は11.5%減、タイム収入もイベント収入の減少等により9.1%減となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入23億35百万円(前年同期比 22.8%増)、営業損失1億26百万円(前年同期は営業損失1億62百万円)となりました。

ソフトウェア開発業界では業界内の競争が一層の厳しさを増す中、積極的な営業活動を展開した結果、官公庁向けソフトウェア開発および機器販売が好調で、増収となりました。利益面では、前年同期より改善しました。

③不動産事業

不動産事業は、収入5億16百万円(前年同期比 0.5%増)、営業利益3億49百万円(前年同期比 0.6%増)となりました。

テナント収入の増加より、増収増益となりました。

④その他事業

その他事業は、収入9億26百万円(前年同期比 31.1%減)、営業損失91百万円(前年同期は営業利益41百万円)となりました。

催事部門では、福岡市博物館で「世界記憶遺産 山本作兵衛の世界～記憶の坑道～」等を開催しましたが、前年JR九州ホールで開催した「アートアクアリウム展」に替わるイベントがなく、減収となりました。利益面でも営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億46百万円減少し、411億66百万円となりました。これは主に、株価の上昇により投資有価証券が4億44百万円、たな卸資産が1億74百万円、未収金が1億1百万円増加したものの、回収等により受取手形及び売掛金が10億54百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末に比べ5億69百万円減少し、122億88百万円となりました。これは主に、厚生年金基金脱退損失引当金が2億77百万円増加したものの、未払消費税等が2億78百万円、退職給付引当金が2億8百万円、未払法人税等が1億46百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2億23百万円増加し、288億78百万円となりました。これは主に、株価の上昇により、その他有価証券評価差額金が3億5百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績は、個人消費の回復は依然弱く、先行き不透明な状況ですが、主たる放送事業において、主にテレビの売上高が前回予想を上回る水準で推移し、経費削減による営業費用の減少もあり、平成27年8月7日に公表いたしました平成28年3月期の通期の売上高、営業利益および経常利益の業績予想を上方修正いたします。なお、親会社に帰属する当期純利益につきましては、厚生年金基金脱退に伴う特別損失の計上により、前回予想と同水準を見込んでおります。この結果、売上高247億80百万円、営業利益13億円、経常利益14億60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8億40百万円を見込んでおります。

(参考)

- ・平成27年8月7日発表の連結業績予想（通期）

売上高246億円、営業利益11億60百万円、経常利益13億20百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8億50百万円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、前連結会計年度において連結子会社であった株式会社バフは、平成27年4月1日付で当社の連結子会社であるRKBミュージズ株式会社に吸収合併されたため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,695	5,625
受取手形及び売掛金	4,264	3,210
有価証券	10	19
たな卸資産	118	292
その他	2,627	2,852
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	12,714	12,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,405	7,249
機械装置及び運搬具(純額)	821	730
土地	13,319	13,319
その他(純額)	923	1,144
有形固定資産合計	22,470	22,444
無形固定資産		
投資その他の資産	303	280
投資その他の資産		
投資有価証券	4,944	5,389
その他	1,080	1,052
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	6,024	6,440
固定資産合計	28,798	29,165
資産合計	41,513	41,166
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	436	425
短期借入金	240	240
未払法人税等	246	99
厚生年金基金脱退損失引当金	-	277
その他	3,473	2,929
流動負債合計	4,396	3,971
固定負債		
長期借入金	240	120
退職給付に係る負債	6,237	6,028
その他	1,984	2,168
固定負債合計	8,461	8,316
負債合計	12,857	12,288

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	26,749	26,664
自己株式	△178	△178
株主資本合計	27,135	27,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,102	1,407
退職給付に係る調整累計額	△165	△135
その他の包括利益累計額合計	936	1,271
非支配株主持分	583	556
純資産合計	28,655	28,878
負債純資産合計	41,513	41,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	11,913	11,572
売上原価	7,448	7,304
売上総利益	4,465	4,267
販売費及び一般管理費	3,842	3,941
営業利益	623	326
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	52	55
その他	28	22
営業外収益合計	83	79
営業外費用		
支払利息	8	3
その他	0	2
営業外費用合計	9	6
経常利益	697	399
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除売却損	3	60
固定資産解体費用	-	31
厚生年金基金脱退損失引当金繰入額	-	195
その他	0	-
特別損失合計	3	287
税金等調整前四半期純利益	693	111
法人税等	256	54
四半期純利益	437	56
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△27	△21
親会社株主に帰属する四半期純利益	465	78

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	437	56
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	165	305
退職給付に係る調整額	40	29
その他の包括利益合計	205	334
四半期包括利益	642	391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	670	414
非支配株主に係る四半期包括利益	△27	△23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,152	1,902	513	1,344	11,913	—	11,913
セグメント間の内部売上高 又は振替高	84	26	141	306	558	△558	—
計	8,237	1,928	654	1,650	12,471	△558	11,913
セグメント利益又は損失(△)	396	△162	347	41	623	△0	623

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	623
セグメント間取引消去	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	623

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,794	2,335	516	926	11,572	—	11,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	86	24	141	593	846	△846	—
計	7,880	2,360	658	1,519	12,419	△846	11,572
セグメント利益又は損失(△)	193	△126	349	△91	325	0	326

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	325
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の営業利益	326

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

4. 参考情報

(1) 平成28年3月期第2四半期の個別業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(百万円未満切捨て)

【個別経営成績(累計)】

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,876	△7.8	443	△39.9	539	△34.8	165	△68.8
27年3月期第2四半期	9,632	4.3	737	6.2	826	7.6	529	14.9

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第2四半期	15	05	—	—
27年3月期第2四半期	48	27	—	—

【個別財政状態】

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	34,849	76.2	26,551	76.2		
27年3月期	35,125	74.7	26,243	74.7		

【個別売上明細】

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
テレビ収入	7,081	73.5	6,838	77.1	△242	△3.4
ラジオ収入	1,155	12.0	1,042	11.7	△113	△9.8
不動産事業収入	482	5.0	486	5.5	4	1.0
その他事業収入	912	9.5	508	5.7	△404	△44.3
合計	9,632	100.0	8,876	100.0	△755	△7.8

(注) この四半期財務諸表(個別)は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。